

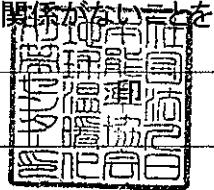
環境省・オフセット・クレジット(J-VER)制度認証委員会
(事務局:気候変動対策認証センター)御中

平成 23 年 5 月 13 日

検証結果の概要報告書

検証結果の概要について以下の通り報告いたします。

| | |
|---|-------------------------------------|
| 対象プロジェクト名 | |
| 大阪府株式会社ケーシーシーにおけるボイラー装置の更新による温室効果ガス削減事業 | |
| GHG 検証機関 | |
| 当該プロジェクトにおける検証を行うにあたり、当該プロジェクトに関して一切の利害関係がないことを宣誓します。 | |
| 機関名 | 社団法人日本能率協会 |
| 担当部署名 | 地球温暖化対策センター |
| 責任者名 | 平川 雅宏 |
| 責任者 E-mail | Hirakawa Masahiro@jma.or.jp |
| 責任者電話番号 | 03-3434-1245 |
| 審査員名 | 審査担当者:平川 雅宏 テクニカルレビューワー:鈴木 健司 |
| 機関要件への合致 | DOE としてセクトラルスコープ 1,2,3,4 の認定を受けている。 |
| 検証報告書発行日 | 2011 年 5 月 13 日 |
| 検証結果 | |
| 適用妥当性確認・検証ガイドライン | 妥当性確認・検証ガイドライン Ver. 1.2 |
| 検証期間 | 2010年 12 月 27 日～ 2011 年 5 月 12 日 |
| 現地審査 | 期間 2011年 5 月 11 日 |



| | | | | | | |
|--------------|-------|--|------|------|------|------|
| | | <p>審査内容</p> <p>本プロジェクトに関わる設備は、2008年11月から本格稼働している。今回の検証で実施した現地訪問では、妥当性確認の現地審査を実施した2010年11月以降、設備変更の有無、プロジェクト担当者変更の有無、プロジェクト計画書修正の有無を、設備の視察及び事業者へのヒアリングで確認した。また、事業者から提出されたモニタリング報告書のモニタリングフロー図、モニタリング体制、QA/QCについても同様に確認を行った。その結果、本プロジェクトに関わるすべての点において、妥当性確認時からの変更・修正が無いとの確認を得た。</p> <p>また、あわせて当会独自のチェックリストを用い、事業者が作成したモニタリング報告書の記載内容の確認及び排出削減量の検算を実施した。なお、購買伝票等の検証に必要な資料はe-mailやFAXにて入手し、すべて確認している。</p> | | | | |
| 排出削減・ 吸収量 | 年度 | 2008 | 2009 | 2010 | 2011 | 2012 |
| | t-CO2 | 36 | 91 | 78 | | |
| 検証結果の要約 | | <p>社団法人日本能率協会地球温暖化対策センター(以下、当協会という。)は、プロジェクト事業者である株式会社ケーシーシーの「オフセット・クレジット(J-VÉR)制度に基づく温室効果ガス排出削減プロジェクトモニタリング報告書」(以下、報告書という。)に記載された二酸化炭素削減量情報について検証を行なった(モニタリング期間:2008年11月1日~2010年12月31日)。</p> <p>その結果、報告書に記載された二酸化炭素削減量情報は、ポジティブリスト、方法論、オフセット・クレジット(J-VÉR)制度実施規則(Ver.2.5)、モニタリング方法ガイドライン(Ver.2.3)、妥当性・検証ガイドライン(Ver.1.2)に準拠しており、誤りの合計値は、重要性の量的基準である5%未満(0%)となった事から、全ての重要な点について適正であると認める。</p> | | | | |

i 審査担当者、レビュー担当者、外部専門家を含み、それぞれの役割を記載すること。